



広がる夢

子どもたちが心豊かでたくましい生き方を 自ら切り拓いていくために
「一人ひとりが生き生きと活動できる学校」を目指して

れいわ ねんどぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょうちょうさ こうさつ 令和3年度全国学力・学習状況調査の考察①

校長 高橋 秀吉

ことし だいしゅう おこな れいわ ねんどぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょうちょうさ けっか
今年の5月に3年生を対象に行った、令和3年度全国学力・学習状況調査の結果に
ついて、こうさつ まじ ほうこく せいとしつもんし かいとうじょうきょう せいかに
ついて、考察を交えて報告いたします。まずは、生徒質問紙の回答状況においての成果と
かだい かんが こんご がっこうけいえい い おも
課題について考え、今後の学校経営に生かしたいと思えます。

【結果】

1. 当てはまる
2. どちらかといえば、当てはまる
3. どちらかといえば、当てはまらない
4. 当てはまらない

しつもんばんごう 質問番号	しつもんじこう 質問事項			
(13)	がっこう いく のは たの しい と おも いますか 学校に行くのは楽しいと思えますか			
せんたくし 選択肢	1	2	3	4
ほんもくちゅうがっこう 本牧中学校	54.7%	33.3%	8.8%	3.1%
かながわけん こうりつ 神奈川県(公立)	42.2%	38.4%	12.8%	6.5%
ぜんこく こうりつ 全国(公立)	43.3%	37.8%	12.8%	6.0%

【考察】

「学校が楽しい」と感じている生徒が学年の88%を占めている結果となり驚きました。

この数字は全国・神奈川県と比較しても相当に高い値です。このような結果となり、とても

うれしく思います。現3年生は1年生の時から、元気が良く、また一方で繊細な感性も持ち

合わせ、さまざまに困難な状況を教職員、保護者の方々と乗り越えてきました。今回の結果

は生徒がさまざまな体験を通し、人として成長した姿であると考えます。

また、学校において「最大の教育環境は目の前の教師」であることから、学年職員をは

はじめ本校の全職員（ほんこうぜんしよくいん）の取り組み（とりくみ）が成果（せいこう）として表（あらわ）れている面（めん）もあるのではないかと（おも）います。特にチームワーク（かあ）で勝ち（だんし）上がった男子（ぶ）バスケットボール部（けんたいかいしゆつじよう）の県大会（すいそうがくふ）出場（きんしよう）や吹奏楽部（ふいそうがくふ）の金賞（きんしょう）はその成果（せいこう）の表（あらわ）れではないかと（かん）感じています。このような結果（けっか）となったのは、本校職員（ほんこうしよくいん）の取り組み（とりくみ）として次（つぎ）のようなこと（かんが）が考（かんが）えられます。

【本牧中学校教職員（ほんもくちゆうがっこうきようしよくいん）の取り組み（とりくみ）や姿勢（しせい）】

- ① 愛情（あいじよう）をもって生徒（せいと）と接（せつ）している。
- ② 保護者（ほごしゃ）と協力（きようりよく）し、丁寧（ていねい）かつ臨機応変（りんきおうへん）に（たいおう）対応（たいおう）している。
- ③ 生徒（せいと）や保護者（ほごしゃ）の話（はなし）をよく聴（き）いている。
- ④ 生徒（せいと）の意見（いけん）やアイデア（アイデア）を具現化（ぐげんか）させている。（本牧（ほんもく）ハロウィンなど）
- ⑤ 授業（じゆぎよう）をわかりやすく工夫（くふう）している。
- ⑥ 伝達内容（でんたつないよう）を生徒（せいと）にわかりやすく説明（せつめい）している。
- ⑦ 一人ひとり（ひとり）の生徒（せいと）に適切（てきせつ）な個別対応（こべつたいおう）を（おこな）行（おこな）い、個性（こせい）と能力（のうりよく）を伸（の）ばそうとしている。

多少（たしやう）本校（ほんこう）の教職員（きようしよくいん）をほめすぎた感（かん）は否（いな）めませんが、学校長（がっこうちやう）として教職員（きようしよくいん）の日常（にちじよう）の取（とり）組み（くみ）を観（かん）察（さつ）する中（なか）で気（き）づいたこと（こと）を述（の）べさ（せ）せていただきました。もちろん、このよう（がっこう）に学校（がっこう）におい（お）て教育活動（きよういくかつどう）が充（じゆう）実（じつ）して展（てん）開（かい）されるの（の）も、保護者（ほごしゃ）の皆（みな）さまの理（り）解（かい）と協（きよう）力（りよく）と、地（ち）域（いき）の方（か）々（がた）の支（し）援（えん）が（あ）つてのこ（こと）だと思（おも）います。

来年度（らいねんど）、本牧中学校（ほんもくちゆうがっこう）は創（そう）立（りつ）30周（しゆ）年（ねん）を（むか）えます。この結果（けっか）に慢（まん）心（しん）せず、更（さら）に教育活動（きよういくかつどう）の充（じゆう）実（じつ）を（はか）り、生徒一人ひとり（せいとひとり）の個性（こせい）や能力（のうりよく）を（ひ）き出（だ）し、未（み）来（らい）につな（つ）がる力（ちから）を（はぐ）く（おも）いと思（おも）っています。

後期（こうき）が始（はじ）まりました

10月11日（じゆうがつじゅういちにち）に、テレビ放送（てれびほうそう）による前後期（ぜんこうき）入れ替（か）え式（しき）と部活動（ぶかつどう）の表（ひやう）彰（しょう）が合（あ）わ（おこな）せて行（おこな）われました。後期（こうき）の始（はじ）まりと同時（どうじ）に行（ぎやう）事（じ）が自（じ）白（はく）押（お）しです。3年生（さんねんせい）はこれ（こ）から進（しん）路（ろ）に向（む）けての動（うご）きで慌（あわ）ただしくなりますが、体調管理（たいちようかんり）を心（こころ）が（の）け、残（のこ）り半年（はんねん）中（ちゆう）学（がく）校（こう）生（せい）活（かつ）を（たの）しみま（し）よう。



